

経済水道委員会

説明資料

名古屋城天守閣整備について

平成29年8月1日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会の概要……………	1
2 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会における 構成員の主な意見……………	2
3 石垣調査内容……………	3
4 名古屋城 現天守閣断面図……………	4
5 穴蔵石垣補修のための補助申請資料（昭和25年10月17日）…	5

1 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会の概要

(1) 会議の開催状況

区 分	開 催 日	議 題 (天守木造復元関連)
第20回	平成29年3月28日	・天守木造復元について
第21回	平成29年5月12日	・名古屋城天守台石垣の調査について
第22回	平成29年6月23日	・名古屋城天守台石垣の調査について

(2) 構成員

氏 名	所 属 等
西田 一彦 (座長)	関西大学名誉教授
北垣 聰一郎 (副座長)	石川県金沢城調査研究所名誉所長
赤羽 一郎	愛知淑徳大学非常勤講師
千田 嘉博	奈良大学教授
宮武 正登	佐賀大学教授

2 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会における構成員の主な意見

(1) 第20回石垣部会（平成29年3月28日開催）

- ・特別史跡名古屋城跡において、石垣は本質的な価値を有している。保全・修復を第一に考えるべき
- ・石垣の調査は、石垣部会において検討した上で進めていくべきである
- ・石垣の抱える問題をしっかり確認した上で、次にどうしていくか検討するのが本来の手順

(2) 第21回石垣部会（平成29年5月12日開催）

- ・木造復元の工程を前提に、石垣についての検討を行うのは、特別史跡としての認識があまり
- ・市の計画は、天守閣を木造復元するために、石垣を取り外すことを前提にしている。特別史跡において本質的な価値を有する石垣を毀損する前提での計画はあり得ない
- ・天守閣再建などで損なわれてしまった石垣を、学術的な検証に基づいて本来の姿に復元するという考えが前提にあるべき

(3) 第22回石垣部会（平成29年6月23日開催）

- ・調査内容は概ねこの方向でいいと思う
- ・文化財である石垣を調査し、長い期間をかけて石垣の修復を行い、その後に初めて天守閣をどうするか議論すべき
- ・保存活用計画が決定していない中で、木造復元が決まったかのような計画はおかしい

3 石垣調査内容

(1) 基礎的な調査

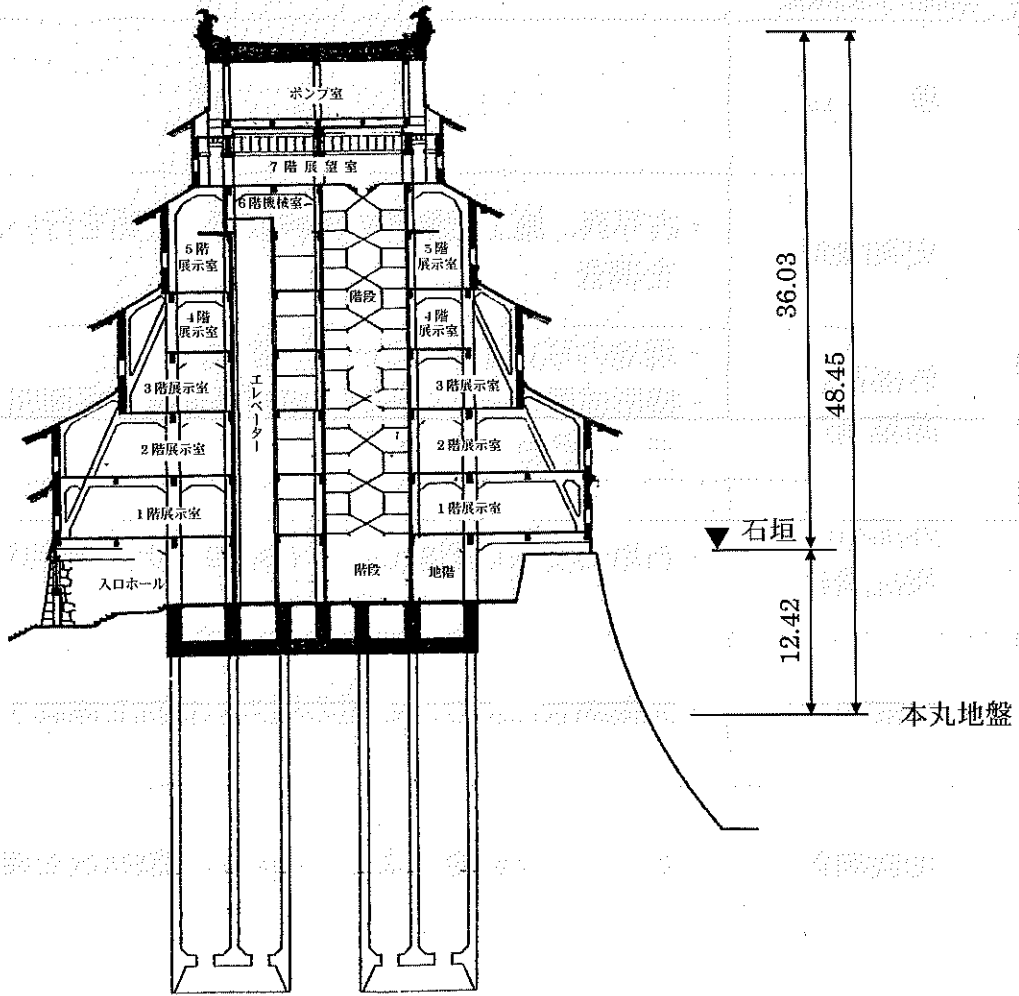
項 目	内 容
史実調査	・古写真、施工記録等の史料収集、分析を行い、石垣の変遷を調査
外部石垣 測量調査	・現地の写真撮影、レーザー計測 ・撮影成果を元に立面図、縦横断面図、平面図、三次元点群データ作成
外部石垣 現況調査	・石垣の現状を把握し、「石垣カルテ」を作成
発掘調査	・発掘調査により、石垣の根入れ状況を確認する
地盤調査	・ボーリング調査により、石垣の地盤状況を確認する

(2) 今後検討している調査

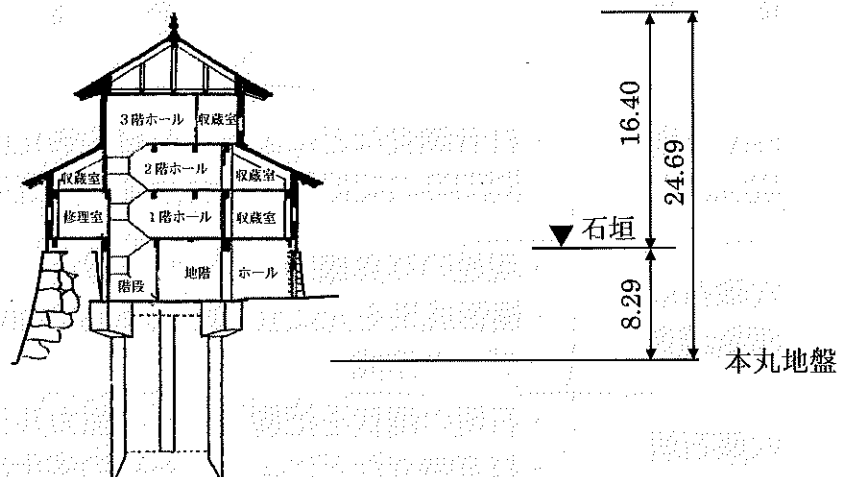
項 目	内 容
外部石垣 現況調査	・打音調査などにより、石材の劣化度を確認する ・刻印等の記録や、石材産地の調査を行う
穴蔵石垣 測量調査	・現地の写真撮影、レーザー計測 ・撮影成果を元に立面図、縦横断面図、平面図、三次元点群データ作成
穴蔵石垣 現況調査	・石垣の現状を把握し、「石垣カルテ」を作成 ・打音調査などにより、石材の劣化度を確認する ・刻印等の記録や、石材産地の調査を行う
石垣背面調査	・レーダー探査等により、石垣の背面状況を確認する

4 名古屋城 現天守閣断面図

大天守閣



小天守閣

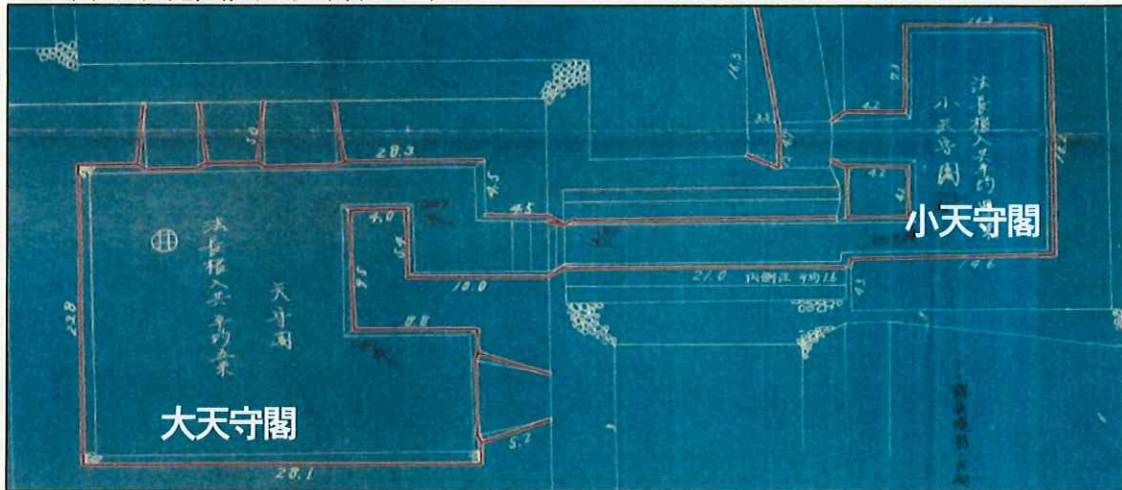


5 穴蔵石垣補修のための補助申請資料 (昭和25年10月17日)

(1) 趣旨

天守閣焼失後に穴蔵石垣の補修を行うため、補助申請を行った資料である。実際にこのような補修が行われているかどうかは不明であり、補修内容を確認するには、史実調査や測量調査などが必要である。

(2) 工事対象範囲図 (穴蔵石垣)



(3) 断面形状 (穴蔵石垣)

